



今回はどぶろくの蒸留！と言うことは米焼酎。
 ちなみにどぶろくの作り方から説明しようと
 ヤフーで「どぶろくの造り方」で検索したらなんと
 28,700件もヒット！
 で「焼酎の造り方」となると驚きの520,000件。
 そこで、ここでは急遽、濁り酒の簡単蒸留法に
 変更。 😊

*これはあくまでもどぶろくの蒸留実験です！そのためにも写真でお気づきでしょうか？メタノールを含む燃料用アルコールも準備してあります。これを加えて蒸留すれば飲めません。**絶対に飲まないで下さい。**メタノールは昔から「目が散る」と言われ、失明するほど危険なアルコールです。燃料用アルコールを混ぜないで蒸留すると酒税法違反となります。多分……？

	<p>使用するのは銅製蒸留器「アルキタール3L」 このタイプはアランビックと異なり、左の矢印が冷却槽となっています。ここに水を入れ、水蒸気となったアルコールを冷やして液体に変えます。 もし、一回で1.5L以上のどぶろくを蒸留実験したい場合は5Lサイズがお勧めです。</p>
	<p>組立はチョー簡単。ポットに冷却槽をはめ込むだけ。 アルキタールは良質のアルコール蒸留には最適。 沢山どぶろくを造ってしまったら幾分大きめの5Lもお奨め。保存は焼酎で！でも酒税法違反ですのでご注意、、、</p>
	<p>ポットの底はまっ平らではありませんのでガスコンロに置いた際、ぐらつく場合は写真の「五徳」があればより安定します。</p>

	<p>どぶろくは濁り酒より濃度が高く、どろっとしており (m(_ _)m 実際には飲んだことがありませんが)、お米の粒も粗いものが沢山入っていると思います、、、これを漉す為にビーカーの上に、市販のガーゼを四重に折り重ねて濁り酒を注ぎます。 この濁り酒は21度、720ml入り。</p>
	<p>予定ではうまくさらさらと漉せるはずでしたが、ガーゼが目詰まりを起こしてさらさらとは…… しかたがないので、今度は二重にしましたがダメ！ で、ガーゼ1枚のみでさらに試しましたが、うまく漉せません！</p>
	<p>仕方が無いので最後はたまたまオフィスにあった網目ざるで漉して見ましたが、一応オーケーです。もう少し網目が細かいものの方が良いと思いますが！！ 😊</p>
	<p>漉した濁り酒ですが、まだ細かく砕かれたお米は取り除かれていません。ここで燃料用アルコールを入れて、飲用には適さないようにします。絶対に飲まないで下さい。 * 燃料用アルコールにはメタノールが入っており、有毒です。 ここでビーカーに移し変えて分量を量ります。 600ml あります。ア、変ですね?? このボトルは確か720ml 入りのはずですが???? (会社に誰もいなかったんで、少しだけ味見のつもりが、ほんの少しのつもりが!!! きりっとしたなかなかの辛口でした……) 😊</p>
	<p>ビーカーの濁り酒をポットに注ぎます。 3L サイズのポットでは吹きこぼれることも考慮して、その半分位が安全と思います。</p>



冷却槽に付属のビニールチューブを取り付けます。
銅製パイプの方に食用油を塗ってからチューブ差し込むを清掃の際、簡単に外せます。

m(_ _)m.この写真では逆になっていますが、本当はピンクの矢印のチューブはビーカーに、灰色の矢印のチューブは流しに入れておきます。チューブがガスの火で熱くならないようにセットしてください。冷却槽を水で満たします。



実はこの写真が正しいチューブの繋ぎ方です。
流しに入れるチューブ(黒い矢印)は冷却槽の水が冷たい内はどこか高いところに吊り下げるか、付属の木栓をして、水が流れ出ないようにします。

さてここで一番細い火で点火。時間はちょうど15:00。
なるべく細火で、火を点けたり、消したりして温度調節しても O.K.です。



15:10 アレー早過ぎますが、最初の一滴が良い香りと一緒に出てきました。この最初に出て来る成分には先ほど入れたメタノールが多く含まれています。(メタノールの沸点はエタノールより低いので)なるべく76℃(エタノールの沸点)を保ちます。(どうやって? 火を点けたり消したりしながら蒸留水の出具合を見て! 😊)あまり高いと水分も蒸発してしまうので水っぽくなります。(但し、アルキタールの冷却槽の構造がある程度は防いでくれますが)



上の写真は15:20に写したもので、既に125ml焼酎が出ています。
時々この冷却槽の水温を指で計ってください。(生温い位がちょうど良い温度で、熱くなっていればチューブからお湯を流し、やかんなどで水を満たして温度を下げてください)決して矢印の円形状の部分には触れないように。水蒸気が当たって熱くなっておりヤケドをします。



15:30 250ml抽出。幾分(だいぶ?)にごりが入っていますが(トイレに行っている間に見逃してしまいました) 😊 不透明な蒸留液が出て蒸留液が濁ったらそこで蒸留を終了します。

ポットの中に残った濁り酒は気の抜けた甘酒のような香りがします。一方、ビーカーの中の蒸留液は何かピリッと喉にくるような、、、 😊 実験が終わったらすぐに危険な蒸留液は廃棄してアルキタールを清掃してください。m(_ _)m

次回に続きます。お楽しみに！